

令和3年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和3年10月13日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福
 コード番号 6076 URL https://www.az-hotels.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)穴見 賢一
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)児玉 幸子 (TEL)097(524)3301
 四半期報告書提出予定日 令和3年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年11月期第3四半期の業績（令和2年12月1日～令和3年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年11月期第3四半期	8,462	3.4	643	△33.4	471	△34.0	275	△22.7
2年11月期第3四半期	8,185	△25.9	966	△65.1	714	△71.0	356	△78.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年11月期第3四半期	18.11	—
2年11月期第3四半期	23.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年11月期第3四半期	27,569	11,575	42.0
2年11月期	26,338	11,604	44.1

(参考) 自己資本 3年11月期第3四半期11,575百万円 2年11月期11,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年11月期	—	—	—	20.00	20.00
3年11月期	—	—	—		
3年11月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年11月期の業績予想（令和2年12月1日～令和3年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	5.8	800	△47.5	500	△58.0	300	25.4	19.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年11月期3Q	15,204,000株	2年11月期	15,204,000株
② 期末自己株式数	3年11月期3Q	378株	2年11月期	378株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年11月期3Q	15,203,622株	2年11月期3Q	15,203,622株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることや、東京オリンピックが無観客開催となったことから期待されていた経済効果が出ていないこと等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、ワクチン接種の進展により新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐものと期待されていましたが、感染拡大による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の影響により宿泊需要は減少しており、依然厳しい状況が続くことが予想されます。

当社においては、緊急事態宣言の発出、各自治体による外出自粛要請や店舗への営業時間短縮要請等の影響から集客回復の動きが鈍く、大幅な業績改善には至りませんでした。また、新規出店に係る費用の増加により、前年同四半期と比べ四半期純利益は減少しています。

なお、当第3四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が85店舗（直営店82店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が4店舗であります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は84億62百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は6億43百万円（前年同四半期比33.4%減）、経常利益は4億71百万円（前年同四半期比34.0%減）、四半期純利益は2億75百万円（前年同四半期比22.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、275億69百万円となり、前事業年度末に比べ12億31百万円の増加となりました。これは主に、新規出店等に係る有形固定資産の増加12億82百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、159億94百万円となり、前事業年度末に比べ12億61百万円の増加となりました。これは主に、新規出店に係る短期借入金の増加13億20百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産の合計は、115億75百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少28百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、令和3年7月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和2年11月30日)	当第3四半期会計期間 (令和3年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	455	664
売掛金	481	234
商品	4	5
原材料及び貯蔵品	59	58
その他	116	129
流動資産合計	1,116	1,093
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,894	11,594
土地	5,293	5,294
リース資産（純額）	7,099	7,809
その他（純額）	1,763	633
有形固定資産合計	24,050	25,332
無形固定資産	62	58
投資その他の資産	1,108	1,085
固定資産合計	25,221	26,476
資産合計	26,338	27,569

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和2年11月30日)	当第3四半期会計期間 (令和3年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	120	99
短期借入金	800	2,120
1年内返済予定の長期借入金	583	583
リース債務	246	268
未払法人税等	249	119
賞与引当金	—	41
ポイント引当金	148	114
その他	1,130	833
流動負債合計	3,279	4,179
固定負債		
長期借入金	3,187	2,749
リース債務	7,942	8,732
退職給付引当金	50	59
役員退職慰労引当金	49	43
資産除去債務	198	203
その他	26	26
固定負債合計	11,454	11,814
負債合計	14,733	15,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	9,803	9,774
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,603	11,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	11,604	11,575
負債純資産合計	26,338	27,569

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和元年12月1日 至 令和2年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和2年12月1日 至 令和3年8月31日)
売上高	8,185	8,462
売上原価	880	823
売上総利益	7,305	7,639
販売費及び一般管理費	6,338	6,996
営業利益	966	643
営業外収益		
受取賃貸料	72	75
助成金収入	35	158
その他	11	16
営業外収益合計	119	250
営業外費用		
支払利息	355	411
その他	15	10
営業外費用合計	371	422
経常利益	714	471
税引前四半期純利益	714	471
法人税、住民税及び事業税	223	167
法人税等調整額	134	28
法人税等合計	358	196
四半期純利益	356	275

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、前事業年度末において経済活動の再開に伴い宿泊客数は徐々に回復していくと仮定し、感染拡大前の水準まで回復するのは令和3年11月期末以降と想定しておりましたが、感染症の広がりや収束時期等の不透明感が強いことから、令和3年11月期末以降においてもまだ一定の影響を受けるものと想定しております。しかしながら、経済活動の正常化により、今後の宿泊客数は緩やかに回復するものと想定しております。

当社は、上記の仮定に基づいて、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。